

【龍岡】

こがわ
小川・葛谷
かすらたに

70 小川の五輪塔



小川の小さい丘に六地藏さんと五輪塔が10基ほどある。残欠を組み合わせたリ、ばらばらになっているものもある。小ぶりなものが多いが、天神社の石塔群とともに中世石塔群として貴重である。花崗岩でできており、蒼社川の石で造ったものかも知れない。

71 榎の大木と道祖神



湖畔の里の裏、御後川にかかる榎の神橋のたもとに大きなエノキがあり、その根本に道祖神が祀られている。道祖神は、もともとは悪霊をさえぎる神様として村境や峠に祀られていた。やがて、旅の道中を守る神・縁結び・子供の守護神・子授け・性の神など様々な性格をもつようになった。

72 無線中継所



葛谷から北へ上りきると、無線中継所がある。最初のものは昭和20年に設置された。途中に眺望のよいところがあり、檜原山・北三方ヶ森・高縄山が見える。山頂近くに「へんど墓」があり、悲しい物語が伝えられている。

73 へんど墓



も地元の人たちはお供えをし、通るたびにお参りをして

無線中継所のすぐ下に小さな祠がある。お遍路でこの地に来た娘さんが地元の人と結婚の約束をしたが、それが叶わず、この辺りで道に迷い、雪の中で亡くなったというお話が伝えられている。その娘さんを供養するためのお地蔵さんが建てられ、今

74 服藤家の柿の木



今治藩は、各庄屋に木練柿とナシの苗を1本ずつ植栽させたらしく、その時の柿の木が葛谷の元庄屋・服藤家に残っている。樹齢は350年以上と言われ、木の高さは20mを超える。老木ながら今も毎年実をつける。

